

(15) だいこん

病害虫	防除法	参考事項						
萎黄病	(耕種的・物理的防除) 1 発病ほ場では連作をしない。 2 抵抗性品種を作付ける。 3 秋まきでは、なるべくは種時期を遅らせる。 4 被害株は畑から持ち出し、土中深くに埋め込む。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 クロルピクリンくん蒸剤又はディ・トラペックス油剤で土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。	○ こまつな、かぶ、チンゲンサイ等でも発生する。						
亀裂褐変症	(耕種的・物理的防除) 1 連作を避ける。 2 排水を良くする。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 リゾクトニア菌による場合は、は種前に、リゾレックス粉剤、又はフロンサイド粉剤を全面土壌混和する。	○ 根腐病菌、根くびれ病菌、その他の菌の単独又は重複感染により、根部に横縞症状、黒変亀裂症状、円形褐変症状等の病徴を示す。						
白さび病(わっか症)	(耕種的・物理的防除) 1 発病しやすい畑ではあぶらな科作物の連作を避ける。 2 被害茎葉は除去する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 は種前に、ユニフォーム粒剤を全面土壌混和する。 2 下記薬剤のいずれかを使用する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アミスター20フロアブル</td></tr><tr><td>ピシロックフロアブル</td></tr><tr><td>メジャーフロアブル</td></tr><tr><td>ライメイフロアブル</td></tr><tr><td>ランマンフロアブル</td></tr></table>	薬剤名	アミスター20フロアブル	ピシロックフロアブル	メジャーフロアブル	ライメイフロアブル	ランマンフロアブル	○ 春期多雨で多発生する。遊走子が気孔侵入する。
薬剤名								
アミスター20フロアブル								
ピシロックフロアブル								
メジャーフロアブル								
ライメイフロアブル								
ランマンフロアブル								
根くびれ病	(耕種的・物理的防除) 1 連作を避ける。 2 排水を良くする。	○ 夏みの早生3号は耐病性。						
べと病	(耕種的・物理的防除) 1 肥料切れしないようにする。	○ 9月上旬ころ降雨により多く発病する。						
黒腐病	(耕種的・物理的防除) 1 発病ほ場へのあぶらな科作物の連作を避ける。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 Zボルドー又はコサイド3000を散布する。	○ 子葉頭部、葉縁等の水孔から侵入する。17℃以下では発病しない。						
黒斑細菌病	(耕種的・物理的防除) 1 肥料切れしないようにする。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病初期から7～10日おきにZボルドーを散布する。							

病害虫	防除法	参考事項									
軟腐病	(耕種的・物理的防除) 1 3～4年間イネ科、まめ科の作物を作付ける。 2 降雨直後に農作業をしない。 3 病株は見つけ次第取り除く。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>マスタピース水和剤</td></tr></table> 2 発病が予想されるときは下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>Zボルドー</td></tr><tr><td>カスミンボルドー/カッパーシン水和剤</td></tr><tr><td>コサイド3000</td></tr><tr><td>スターナ水和剤</td></tr><tr><td>ナレート水和剤</td></tr><tr><td>ヨネボン水和剤</td></tr></table> 3 根や地際を害する害虫(キスジノミハムシ、ナメクジ、線虫など)を防除しておく。	薬剤名	マスタピース水和剤	薬剤名	Zボルドー	カスミンボルドー/カッパーシン水和剤	コサイド3000	スターナ水和剤	ナレート水和剤	ヨネボン水和剤	○ 早播きのものに多い。
薬剤名											
マスタピース水和剤											
薬剤名											
Zボルドー											
カスミンボルドー/カッパーシン水和剤											
コサイド3000											
スターナ水和剤											
ナレート水和剤											
ヨネボン水和剤											
モザイク病	(耕種的・物理的防除) 1 シルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポリトウ)をする。 2 陸稲、さといもなどの間に間作する。 (薬剤防除) 1 発芽直後から20日ころまで、飛来する有翅アブラムシを防除剤により防除する。本項のアブラムシ類の防除を参照。	○ 発芽直後から20日間、特に数日のうちに最も多く伝染する。 ○ 早播裸地栽培に多い。									

病害虫	防除法	参考事項																						
アオムシ	(予防に関する措置) 1 育苗床を防虫ネット等により被覆する。 2 ヘアリーベッチ、大麦等を使用したリビングマルチの活用により、密度抑制を図る。 3 ほ場周辺の雑草（特にあぶらな科雑草）の防除に努める。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、若齢幼虫時に薬剤散布等を実施する。 2 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【アオムシ】 1 発生初期から防除剤を散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td></tr><tr><td>ジェイエース粒剤</td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td>マブリック水和剤 20</td></tr><tr><td>プレバソンフロアブル 5</td></tr><tr><td>ヨーバルフロアブル</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>パダン S G 水溶剤</td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ディアナ S C</td></tr><tr><td>アニキ乳剤</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td></tr><tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td></tr><tr><td>トルネードエース D F</td></tr><tr><td>ハチハチ乳剤</td></tr><tr><td>プレオフロアブル</td></tr><tr><td>プロフレア S C</td></tr><tr><td>リーフガード顆粒水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	オルトラン粒剤	ジェイエース粒剤	トレボン乳剤	マブリック水和剤 20	プレバソンフロアブル 5	ヨーバルフロアブル	モスピラン顆粒水溶剤	パダン S G 水溶剤	スピノエース顆粒水和剤	ディアナ S C	アニキ乳剤	アフーム乳剤	カスケード乳剤	ファルコンフロアブル	マッチ乳剤	コテツフロアブル	トルネードエース D F	ハチハチ乳剤	プレオフロアブル	プロフレア S C	リーフガード顆粒水和剤	
薬剤名																								
オルトラン粒剤																								
ジェイエース粒剤																								
トレボン乳剤																								
マブリック水和剤 20																								
プレバソンフロアブル 5																								
ヨーバルフロアブル																								
モスピラン顆粒水溶剤																								
パダン S G 水溶剤																								
スピノエース顆粒水和剤																								
ディアナ S C																								
アニキ乳剤																								
アフーム乳剤																								
カスケード乳剤																								
ファルコンフロアブル																								
マッチ乳剤																								
コテツフロアブル																								
トルネードエース D F																								
ハチハチ乳剤																								
プレオフロアブル																								
プロフレア S C																								
リーフガード顆粒水和剤																								

病害虫	防除法	参考事項												
ヨトウムシ	(予防に関する措置) 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫 ネットによる被覆や防蛾(が)灯 (黄色灯) の夜間点灯を行う。 4 交信かく乱剤を使用する。・施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【ヨトウムシ】 1 発生初期から防除剤を散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td>マブリック水和剤 20</td></tr><tr><td>ブレバソンフロアブル 5</td></tr><tr><td>ディアナ S C</td></tr><tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr><tr><td>マトリックフロアブル</td></tr><tr><td>アクセルフロアブル</td></tr><tr><td>トルネードエース D F</td></tr><tr><td>ブレオフロアブル</td></tr><tr><td>プロフレア S C</td></tr></table>	薬剤名	スカウトフロアブル	トレボン乳剤	マブリック水和剤 20	ブレバソンフロアブル 5	ディアナ S C	ファルコンフロアブル	マトリックフロアブル	アクセルフロアブル	トルネードエース D F	ブレオフロアブル	プロフレア S C	
薬剤名														
スカウトフロアブル														
トレボン乳剤														
マブリック水和剤 20														
ブレバソンフロアブル 5														
ディアナ S C														
ファルコンフロアブル														
マトリックフロアブル														
アクセルフロアブル														
トルネードエース D F														
ブレオフロアブル														
プロフレア S C														

アブラムシ類

(予防に関する措置)

- 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 2 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。

(判断、防除に関する措置)

- 1 ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

・モザイク病防除を目的とする場合は本項の[モザイク病防除の項](#)も参考にする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

1 気門封鎖剤

薬剤名

エコピタ液剤

オレート液剤

サフオイル乳剤

サンクリスタル乳剤

粘着くん液剤

フーモン

ムシラップ

2 発生初期から防除剤を散布する。

薬剤名

エルサン乳剤

テルスター水和剤

トレボンMC

トレボン乳剤

マブリック水和剤 20

パダンSG水溶剤

アクタラ顆粒水溶剤

アドマイヤーフロアブル

スタークル/アルバリン顆粒水溶剤

ダントツ水溶剤

ベストガード水溶剤

モスピラン顆粒水溶剤

トランスフォームフロアブル

ウララDF

ハチハチ乳剤

オルトラン粒剤

ジェイエース粒剤

バイデートL粒剤

アクタラ粒剤 5

アドマイヤー1粒剤

スタークル/アルバリン粒剤

ダントツ粒剤

モスピラン粒剤

ブリロッソ粒剤オメガ

リーフガード顆粒水和剤

病害虫	防除法	参考事項
キスジノミハムシ	(薬剤防除) 農業登録情報	○ 6月以降夏期に多く加害する。
	1 作付直前の場合は、下記薬剤のいずれかを使用する。	
	薬剤名	
	スタークル/アルバリン粒剤	
	ダイアジノン粒剤 5	
	フォース粒剤	
	ブリロッソ粒剤オメガ	
	2 発芽後、7～10日おきに下記薬剤のいずれかを散布する。	
	薬剤名	
	アクセルフロアブル	
	サイアノックス乳剤(成虫)	
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	
	パダンSG水溶剤	
	ハチハチ乳剤	
	プロフレアSC	
	モスピラン顆粒水溶剤	

コナガ

予防に関する措置)

1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。

(判断、防除に関する措置)

1 卵や若齢幼虫が寄生している葉を見つけ次第、除去する。

2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。

3 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農業登録情報](#)

1 天敵微生物製剤ボタニガードE Sを散布する。

2 交信かく乱剤

薬剤名

コナガコン

コナガコンープラス

コンフェューザーV

3 BT 剤

薬剤名

エスマルクDF

エコマスターBT

クオークフロアブル

サブリーナフロアブル

ジャックボット顆粒水和剤

チューンアップ顆粒水和剤

デルフィン顆粒水和剤

トアローフロアブルCT

トアロー水和剤CT

フローバックDF

4 下記薬剤のいずれかを散布する。薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避け、数群でのローテーション散布を行う。なお、既に抵抗性の発達している薬剤も認められるが、その程度は地域により差があるため、実際の使用状況から推測して薬剤を選択する。

薬剤名

バダンSG水溶剤

モスピラン顆粒水溶剤

アニキ乳剤

アフーム乳剤

スピノエース顆粒水和剤

ディアナSC

カスケード乳剤

マッチ乳剤

グレーシア乳剤

コテツフロアブル

トルネードエースDF

ハチハチ乳剤

ブレオフロアブル

プロフレアSC

オルトラン粒剤

ジェイエース粒剤

モスピラン粒剤

リーフガード顆粒水和剤

病害虫	防除法	参考事項
ハスモンヨトウ ウ	ハスモンヨトウ (予防に関する措置) - ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 (判断、防除に関する措置) - 中齢幼虫以降になると薬剤の防除効果が著しく低下してしまうため、卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 - 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 - 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 - 作物残さを適切に処分する。 - 常発地ではフェロモントラップを設置するなどして発生消長を確認しながら幼虫の防除を行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 ハスモンヨトウの防除 - 交信かく乱剤 薬剤名 ヨトウコンーH コンフューザーV - BT 剤 薬剤名 エコマスターBT クオークフロアブル サブリナフロアブル デルフィン顆粒水和剤 フローバックDF - 下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 エルサン乳剤 ランネート微粒剤F マブリック水和剤20 アタブロン乳剤	

病害虫	防除法	参考事項
ダイコンシンクイ(ハイマダラノメイガ)	(薬剤防除) 農薬登録情報 薬剤名 ブリロソソ粒剤オメガ エルサン乳剤 ランネート45DF フェニックス顆粒水和剤 プレバソンフロアブル5 ディアナSC アニキ乳剤 アフーム乳剤 カスケード乳剤 マトリックフロアブル アクセルフロアブル トルネードエースDF ハチハチ乳剤 プロフレアSC	
ネキリムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 被害株株元の幼虫を捕殺する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを処理又は使用する。 薬剤名 アクセルベイト ガードベイトA ダイアジノン粒剤5 デナボン5%ベイト ネキリエースK ランダイヤ粒剤	

病害虫	防除法	参考事項																														
センチュウ類	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>パストリア水和剤 (パストーリア ペネトランス水和剤)</td></tr></tbody></table> 2 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>DC油剤/D-D/テロン</td><td></td></tr><tr><td>バイデートL粒剤</td><td>○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。</td></tr><tr><td>ネマキック粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ネマトリンエース粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ビーラム粒剤</td><td></td></tr><tr><td>石灰窒素50</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート60</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素40</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素50防散</td><td>石灰窒素資材</td></tr></tbody></table>	薬剤名	パストリア水和剤 (パストーリア ペネトランス水和剤)	薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。	ネマキック粒剤		ネマトリンエース粒剤		ビーラム粒剤		石灰窒素50	石灰窒素資材	石灰窒素55	石灰窒素資材	粒状石灰窒素55	石灰窒素資材	カルメート55	石灰窒素資材	カルメート60	石灰窒素資材	粒状石灰窒素40	石灰窒素資材	粒状石灰窒素	石灰窒素資材	石灰窒素50防散	石灰窒素資材	○ 生物農薬使用上の留意事項 1 パストーリアペネトランスがほ場に定着し、効果を発揮するまで、2～3年かかる。この間、D-D剤や粒剤を用い体系的な防除に努める。 2 くん蒸剤には、キルパー、テロン、D-D剤を使用できるが、クロルピクリンは土壌中のパストーリア ペネトランスに影響を与えるため使用できない。 3 防除効果は、サツマイモネコブセンチュウに限定される。
薬剤名																																
パストリア水和剤 (パストーリア ペネトランス水和剤)																																
薬剤名	備考																															
DC油剤/D-D/テロン																																
バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。																															
ネマキック粒剤																																
ネマトリンエース粒剤																																
ビーラム粒剤																																
石灰窒素50	石灰窒素資材																															
石灰窒素55	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素55	石灰窒素資材																															
カルメート55	石灰窒素資材																															
カルメート60	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素40	石灰窒素資材																															
粒状石灰窒素	石灰窒素資材																															
石灰窒素50防散	石灰窒素資材																															
ナメクジ、カタツムリ類	(耕種的・物理的防除) 1 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。 2 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。 3 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。 4 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。 5 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【ナメクジ類】・【カタツムリ類】 粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スラゴ</td><td>温室・ハウス・ほ場・花壇</td></tr><tr><td>マイキラー</td><td>ほ場周辺雑草地の生息地</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇	マイキラー	ほ場周辺雑草地の生息地																									
薬剤名	備考																															
スラゴ	温室・ハウス・ほ場・花壇																															
マイキラー	ほ場周辺雑草地の生息地																															
ナモグリバエ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 ハチハチ乳剤を散布する。																															